

令和4年度第1回徳山高等学校学校運営協議会 記録

I 日 時 令和4年5月30日(月)午後2時から午後3時30分まで

II 場 所 徳山高等学校会議室

III 出席者

○学校運営協議会委員

本校全日制委員3名 定時制委員1名 徳山北分校委員3名 鹿野分校委員1名 校長 副校長

○学校関係者

本校全日制教頭 定時制教頭 徳山北分校教頭 鹿野分校教頭 事務長 CS活動推進員

○その他

統括的なCS活動推進員

IV 会議概要

1 現況報告(各教頭から説明)

(1) 本校全日制現況報告

- ・今年の1年生は294名でスタート。近年、周南・下松・光市以外からの通学者が増えており、公共交通機関を使う生徒がほぼ半数を占める。
- ・2大行事(運動会、徳高祭)について、昨年は感染症対策を講じて規模を縮小しつつも開催できた。オンライン配信も行った。
- ・SSHは今年で13年目を迎えた。オンライン開催も増えている中、生徒たち熱心に取り組んでいる。

(2) 本校定時制現況報告

- ・現在生徒は29名。
- ・「学ぶ 夢見る 支えあう」をモットーに取り組んでいる(学ぶ→国語教育の充実、個に対応したキメの細かい学習支援等。夢見る→キャリア教育の充実等。支えあう→学校行事、生徒会活動、部活動の充実等)。

(3) 徳山北分校現況報告

- ・今年度末閉校で、生徒は3年生3名。
- ・基礎的学力の向上、資格取得、進路指導にも力を入れ、生徒一人一人の進路目標に応じた個別指導を実践するなど少人数のメリットを最大限に生かす。
- ・地域とも連携し閉校に向けての計画が円滑に進むよう努めたい。

(4) 鹿野分校現況報告

- ・今年度末閉校で、生徒は3年生5名。
- ・少人数のメリットを生かして、生徒一人ひとりの能力と人間性、社会性を高めるよう、地元での茶摘み・製茶体験や、地域の史跡探求、野菜作り、ボランティア活動等、地域と連携した体験活動の取組を充実させている。

2 議事

(1) 議長選出 全日制PTA会長に決定

(2) 学校運営方針について

- ・校長から資料に沿って説明。
- ・質疑応答は特になく、承認された。

(3) 学校評価について

・副校長から学校評価書の構成と今年度の変更点について説明。

・質疑応答（委員からの御意見）

委員：昨年度の本校の評価書の分掌ごとの項目立ては違和感があり、生徒や外部の人間からはわかりにくい。令和4年度からは生徒の領域に変わっており、中学校や小学校でも同じような形で評価しているが、生徒や保護者、外部の人間も評価しやすく考えやすく、よい改善だと思う。評価基準についても校内の自己評価的なものより客観的な数値の評価が採用されていてよい。

委員：生徒や保護者等へのアンケート結果を評価基準に落とし込むとより客観的な評価になるのではないかと思う。

（４） スクールミッション、スクールポリシーについて

・副校長からスクールミッション、スクールポリシーの説明、今後のスケジュール説明。

・質疑応答（委員からの御意見）

委員：めざす学校像や育てたい生徒像の方がわかりやすいと思うのだが、なぜこのようなとばにしなければならないのか疑問。中学生にとって本当にわかりやすいのか。

委員：めざす学校像という目標よりは、ミッション・使命とした方がよりその実現に向けて学校としての責任が問われてくるのだろう。スクールミッションを設定するのはいいとして、その視点で「生徒・学校外の関係者にわかりやすく学校の役割や理念を示すこと」とあるのだが、現在示されているミッション案の言葉はすごく難しく、わかりにくい。学校像に書かれていた言葉の方がわかりやすくイメージしやすい。

学校：中学生や保護者に対してのわかりやすさも含めて、どのようなスクールミッションにしていくかが課題になる。お気づきがあれば、ぜひ意見を寄せていただきたい。

（５） 綱紀保持について

・校長から綱紀保持に係る研修等の実施計画書について説明。

・質疑応答は特になし。

（６） その他

〔本校定員について〕

委員：定員について、この少子化の中で今回定員を増やしたのはなぜか？

学校：教育委員会がその地域の人数と志望動向を踏まえて生徒定員を決定している。県全体としては減っているが、この地域では子どもが増えているということから、本校を含めいくつかの高校で定員が増えた。

〔分校について〕

委員：分校は徳山高校といっても場所も離れており、本校とつながりを感じる事がなかったが、今回集まりに参加させていただいて、スクールミッションの話など、連携しているんだなと感じることができた。今回で分校が終わりという劇的な時期にこういう形で関わらせていただいていたありがたいと思っている。

委員：子どもが分校を卒業して7年くらい経つが、皆さん頑張っているなと思う。こんな新しいことをやっているんだなと感心する。

委員：今年度閉校ということは大きい。1学年3人だけれど、子どもが北分校に通えてよかったなと思う。学力も高校に入ってから上がった。

委員：昨年、運営協議会の委員になって授業等参観させてもらって、本当にいい学校経営をされているなと思う。コロナでイベント等が一切できない状況だったので、分校がなくなっていくという現実感がない。今年度のイベントでだんだん実感がわいて、分校ロスを感じるだろう。

〔高大連携について〕

委員：周南公立大学が新たに設置された。高大接続というところで徳山高校と連携し、周南市全体でうまく循環していけるようにこれからもよろしくお願ひしたい。

〔その他〕

委員：鹿野分校の学校評価書が大変わかりやすく参考になった。

委員：スクールミッションについて、「この学校にはこういう生徒が集まるのか」というようなもっと夢があるような内容にすると、中学生などにも伝わりやすいのではないか。

委員：綱紀保持に係る研修は、外部講師にもぜひ研修をきちんとやっていただきたい。内部での研修では十分な効果が期待し難い。